

2013年年次大会発表演題一覧

No.	演題題目	発表者	所属
1	水球国際試合における男女選手の泳距離・泳速度	南隆尚	鳴門教育大学
2	スタートスキル改善のための現場での科学的サポート	佐藤進	金沢工業大学
3	ロンドン五輪男子水球競技における退水時攻撃の分析ーパス回しによるディフェンスの崩しについてー	洲雅明	大分県立芸術文化短期大学
4	水球における球速増大のための下肢動作の最適化シミュレーション	南豊	東京工業大学大学院
5	飛込競技の入水時腰椎アライメントと肩関節可動域との関連	成田崇矢	健康科学大学
6	シンクロナイズドスイミングにおけるスカーリング動作時の手部流体力の推定	川合結万	筑波大学大学院
7	クロール泳における呼吸動作習得に関する指導の有効性	金沢翔一	日本女子体育大学
8	クロール泳における呼吸制限による呼吸法の変化ービデオ分析と鼻腔内圧の変化からー	長岡裕里子	筑波大学大学院
9	坂戸市・城西大学共同プロジェクト「水中リハビリ運動教室」における参加者の生理応答と水中運動効果への一考察	水野加寿	城西大学
10	主運動前の第2ウォーミングアップが呼吸代謝応答と泳パフォーマンスに及ぼす影響	佐野公英	筑波大学
11	インターバル泳中における休息状態の違いがエネルギー消費量及び筋酸素動態に及ぼす影響ーActive Recovery と Passive Recoveryの比較	伊藤駿太郎	新潟医療福祉大学大学院
12	中高年女性における水中ウォーキングが血中レプチンに及ぼす影響	河上俊和	大阪体育大学
13	クロール泳における下肢の利用が泳ぎの効率に及ぼす影響	成田健造	筑波大学大学院
14	平泳ぎキック動作中の下肢に働く流体力と圧力分布から推定した足部流体力	角川隆明	筑波大学
15	重心-浮心間距離がキック泳におけるエネルギー消費量に与える影響	奈良梨央	新潟医療福祉大学
16	足部圧力変動からみたクロール泳6ビートキックの流体力発揮	市川浩	福岡大学
17	モノフィン泳未経験者のアプニア泳動作に関する基礎的研究	谷川哲朗	京都工芸繊維大学大学院
18	水中および陸上歩行時の体幹・下肢筋活動比較	大久保雄	埼玉医科大学
19	各種泳法のストローク推移と競泳用バタフライストロークの提案	伊藤慎一郎	工学院大学
20	ジュニアスイマーの選手参加型泳法講習会の効果ー心理的競技能力の変化ー	野口智博	日本大学
21	クロール泳とヘッドアップクロールの筋活動量の違いについて	原怜来	早稲田大学大学院
22	水中ドルフィンキック泳中の体幹動作と筋活動における特徴ー大学競泳選手を対象としてー	小林啓介	筑波大学大学院
23	バタ足キックの筋活動解析	神館盛充	早稲田大学大学院
24	水球競技における巻足動作の筋活動解析(仮)	飯塚哲司	早稲田大学大学院
25	水中ドルフィンキックおよび水中バサロキックの筋活動解析	原有美	早稲田大学大学院
26	大学競泳選手に対する心理的コンディショニング中心にしたメンタルサポートの実践	兄井彰	福岡教育大学
27	ジュニア競泳選手におけるクーリングダウンの方法の検討ークーリングダウンができない環境を仮定してー	佐藤大典	中京大学大学院
28	水球競技の小学生用ゴール導入に伴う攻撃パターンの特徴	西澤晃希	大阪産業大学
29	競泳スタート後の潜水局面が記録に及ぼす影響	奥田修人	大阪体育大学
30	競泳選手の反張膝が膝関節障害に及ぼす影響	栗木明裕	福岡大学
31	大腿部および胸部の慣性センサデータからみた水中歩行の特徴	金田晃一	千葉工業大学
32	小学校における着衣泳指導の現状と課題	目黒拓也	日本大学大学院
33	高血圧で運動制限された者の日常トレーニングとラップタイムコントロール	佐藤皓	高エネルギー加速器研究機構
34	整形外科的メディカルチェックからみた大学競泳選手の身体的特徴	川島康弘	大阪体育大学
35	クロール泳におけるフリップ・ターン動作の特徴	桂田健太	中京大学大学院
36	ストリームライン姿勢時における頭部位置の違いは泳パフォーマンスに影響を及ぼすのか？	安藤邦彬	筑波スポーツ科学研究所
37	飛込競技における入水姿勢ー後方回転種目の回転数による違いー	谷口徹	笹本整形外科
38	競泳選手における静的および動的バランス能力特性	杉浦宏季	福井県立大学
39	大学生の浮標能力に関する研究ーラヌー式浮標の有用性を探るー	鈴木淳也	日本大学